

昭和十年八月調

古墳調査臺帳

邑

樂

市郡

郷谷

村町

古墳調査要 邑樂郡 郷谷町村

郷谷町村

番 號	名 稱	所 在 地	地 目 地 積	所 有 者	型 式	大 小	現 狀	發 掘 ノ 有 無	出 土 品	由 來 徵 證	管 理 ノ 有 無	參 考 事 項
第壹號	山王山	郷谷村大字當郷一八七五ノ二	一八七五ノ三番 小林		前方後圓型	墳丘、全長一四二尺 前方部、高一二尺 後方部、高一七尺	雜木ニテ蔽ハル	明治四年、前方部發掘 左記如キモノヲ、現ニ善長寺ニ藏ス ①金環一箇 ②白土刀約丁口 ③石ノ片ニ程ノ行岐ナリ	口碑傳説 一、土師、人、三、八、武、士、ヲ、葬、リ、墳、ヲ、造、リ、三、玉、山、ト、書、ス、 二、明、治、四、年、前、方、部、ヲ、發、掘、シ、所、惡、疾、流、行、セ、ル、タ、メ、後、方、部、ヲ、發、掘、ス、取、リ、止、メ、後、方、部、 頂、ノ、右、ノ、祠、ヲ、造、宮、ス、側、當、ニ、為、善、命、長、久、ト、ナ、リ、	善長寺領以テ、現ニ同寺ニテ管理ス		

擔當調査員  
職氏名印  
訓導部并農林

出土品

邑樂郡郷谷村

古墳第壹號

- (一) 金環一箇 (所在不明)
- (二) 日本刀約十口  
朽破セル不<sup>レ</sup>甚<sup>ク</sup>ダシク完全ナル形ヲ認ムス
- (三) 土竹管 瓦 (共ニ墳丘外部ヲ構成セル材料ナリ)

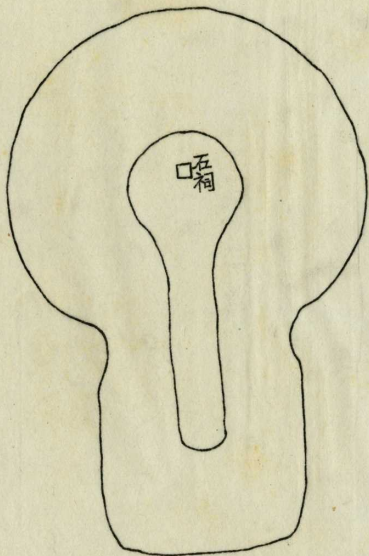
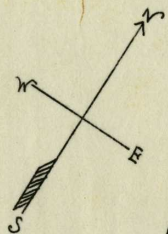
善長寺ニ藏ス





山王山(第2卷)  
(後内初)

圖面平



圖面斷



山王山

(管倉部)

邑樂郡郷谷村

1
310

# 古墳調査票

邑 樂

郡 郷谷町村

番 號	名 稱	所 在 地	地 目 地 積	所 有 者	型 式	大 小	現 狀	發 掘 ノ 有 無	出 土 品	由 來 徵 證	管 理 ノ 有 無	參 考 事 項
第二番	ナシ	郷谷村大字當郷 一九七五、四番 畑 九反二六步	一九七五、四(畑) 九反〇畝二七步		圓 型	墳丘一宮ヲ四尺位 墳中底徑三尺位 (推定)	桑畑地	明治四十一年三月山形トシテ閣下ニ同時ニ墳丘發掘ス	ナシ	碑伊説 餘杯西主赤井氏ヲ藏セントセルモ臣因幡守等 諸政レテ善長寺、 白根(元龜元年七月七セムワ葬ルン地ヲト云フ	桑畑トシテ耕作サル	

擔當調査員  
職氏名印  
訓導長  
田部井巖松



# 古墳調査票

邑 樂 郡  
郷 谷 町 村

番 號	名 稱	所 在 地	地 目 地 積	所 有 者	型 式	大 小	現 狀	發 掘 ノ 有 無	出 土 品	由 來 徵 證	管 理 ノ 有 無	參 考 事 項
第三號	ナシ	郷谷村大字吉郷一九七五ノ四番	一九七五ノ四番 畑 九反〇畝二六歩		圓型	墳丘ノ高ナ 五尺佳 墳丘ノ底ノ徑 三尺佳 (推定)	桑畑	明治四十二年三月間墾ニヨリ墳丘ヲ發掘ス	別紙記載ノ如キ土品ヲ、現在善長寺ニ藏ス	口碑伝説 館林城主 赤井氏ノ武臣ノ墳墓ヲト云フモ不詳	現在桑畑トシテ耕作セル	

擔當調査員  
職氏名印  
訓導長 田全 彰  
田部升 齋藤 松

出土品

邑樂郡郷谷村

古墳第參號

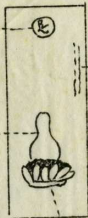
(一) 馬頭骨

(二) 板碑

一ヶ  
一ヶ

現善長寺ニ藏ス

年号アルモ判然セス



梵字

ミキスズノ形彫刻アリ

蓮花彫刻アリ



古墳調査票

知邑 樂郡 御谷町村

番號 第四號  
 名稱 一里塚

所在地 御谷村大字新當郷一五六五番

地目地積 一五六五番 山林 九步

所有者

型式 円型

大サ 円径 十二尺 (推定)

現狀 僅口ハ高く丘ヲ入 其ノ中央古松アリ 發芽前柱ル 今ノ八月倒ル 圍リハ田ナシ

發掘ノ有無 塔ノ礎ニテ古松 數年前樹ニ 根初ナリ 八月廿九日 風雨ニ倒ル 村人事リ様ヲ 掘ル 偶人 四目ヲ 發見 到ニ 葬ル 別段 掘キ 是所 錢 三枚 發掘ス

出土品 別無 如キ 古錢 天那錢 生ノ 他ニ 何物モ 出ズ

由來徵證 口御付親  
 今ノ 塚ノ 北ノ 道南側ニ 古松 各一本アリ 往川秀忠 頃 鎗塚 藩主 神書 侯 一里塚ト 又 一石 表 經 牌 柱 立ス 其 經 牌 則 通行 際 此 經 牌 亦 立リ 今ノ 塚 名 亦 判 定

管理ノ有無 現ニ 演習 手 三 部 管理 ス

參考事項

擔當調査員 田部 井 巖 松  
 職氏名印 訓導 田 全 茂

出土品

邑樂郡郷谷村

古墳第四號

古錢



唐高祖武德四年(西紀六二二)鑄造  
唐高宗年間治鑄入秋口和銅錢手本  
(日本百科大辭典)



宋太宗至道年間  
西紀九九五—九九七 鑄造  
(日本百科大辭典)



宋徽宗大觀年間  
西紀二〇七—二二〇 鑄造  
(日本百科大辭典)

古墳調査票

邑樂郡

卯谷町村

番號	名稱	所在地	地目地積	所有者	型式	大サ	現狀	發掘の有無	出土品	由來徵證	管理の有無	參考事項
第五號	一里塚	卯谷村大字新当郷	一五〇四番 山林 十二步		円型	円、徑十二尺(推定)	僅ク三ヶ所、北裏ニ十坪程、池アリ、周圍田、丘、北端ニ古松アリ、丘ノ上ニ肥藏尊、及唐申塔ニ傳テ	發掘セズ	無し	口碑伝説 「千塚」 千塚村ノ入口ニアリ、往時茂原、吹田、林藩主、神本侯、千塚トシ、松ノ塚トシ、 ニ、古ノ墓、狀、經、肥藏ノ墓ト云フ、并、經、奥州ノ通行、障、此、松、枝、腰、ト云フ、ト云フ、コ、地、名、ヲ、割、管、ト云フ	千塚 一四二番濱野 平三郎 氏管理ス	

檢査調査員  
職氏名印  
訓 田 全 藏  
田 幸 井 藏 私



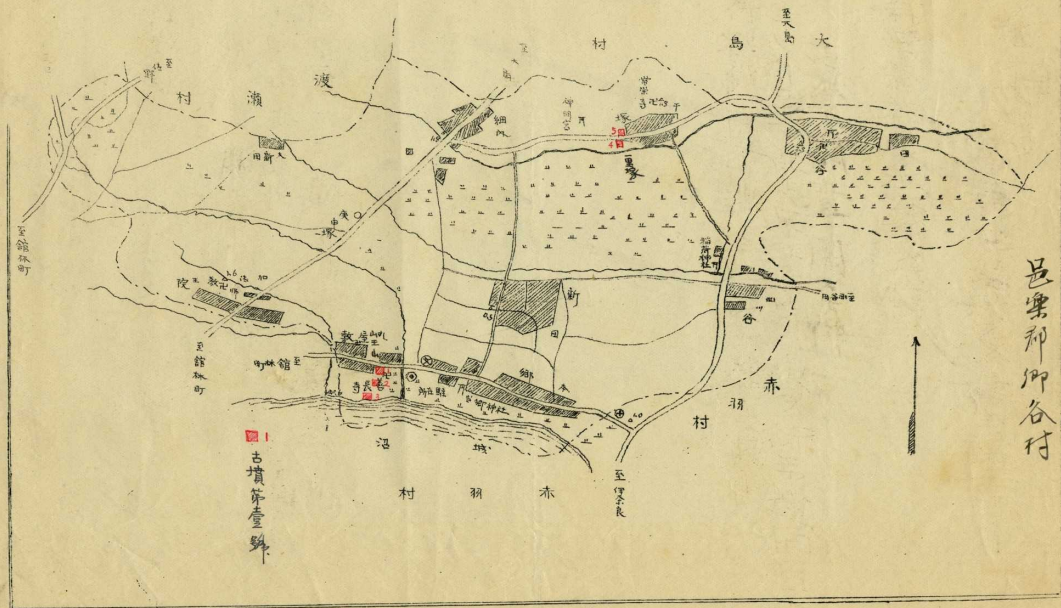
一里塚  
(王塚分五塚)



吳作人  
画



圖地村谷鄉  
(布分之墳古)



邑樂郡御谷村

邑樂那鄉谷村

